

あなたの
声を...

寄せられた意見の概要や検討結果をお知らせします！

各一覧表は、市民の皆さんから寄せられた意見を適宜要約したうえ、原案の項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめたものです。項目ごとに、左側が「寄せられた意見」で類似した意見について集約し、件数とともに表示しています。右側は、それに対する市の検討結果を記述しています。

「地域防災計画」を見直しました

危機管理室 (保(番438 - 4010))

検討結果公表日 5月15日(木)

意見募集期間 12月15日(土)～1月31日(木)

意見件数 54件(5人)

西東京市地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、西東京市防災会議が策定する計画です。震災および風水害に係る予防・応急復旧対策などを実施することにより、災害から市民の皆さんの生命、身体・財産を保護することを目的としています。

今回は、より災害に強いまちづくりを進めるために、平成15年3月に策定された計画を抜本的に見直しました。

修正の背景

(1)首都直下地震における被害想定への反映

中央防災会議の首都直下地震被害想定が公表され、平成18年5月に東京都防災会議で決定した「首都直下地震による東京の被害想定」の内容を計画の前提としました。

(2)集中豪雨等への対応

平成17年9月の杉並区・中野区などで発生した集中豪雨など、近年の記録的な豪雨により、地下施設を中心とした浸水被害が発生しています。都市型水害の教訓等を踏まえ、修正しました。

変更事項の要点

(1)市がこれから10年間に取り組む目標(住宅・ブロック塀などの倒壊および火災による死傷者の減少、避難者の減、外出者の早期帰宅など)を「減災目標」として定め、そのための対策を推進します。

(2)災害時要援護者対策を推進するため、市、防災関係機関、防災市民組織、ボランティアなどとの連携活動体制の充実・強化を図ります。

(3)災害対策本部体制を「初動期」と「応急復旧期等」に分け、効果的な運用を図ります。

(4)応急復旧対策の総合的マニュアルとして活用できるよう、発災後の時間経過に応じた対策(手順・担当部署等)の明確化を図ります。

(5)計画全般のスリム化を図り、震災編・風水害編ともに分りやすい構成としました。

市では、今後この計画に基づき、市民の皆さんや関係機関との連携・協力を図りながら、災害対策を推進していきます。ご協力をお願いします。

被害の想定

計画の前提条件

項目	想定地震
名称	多摩直下地震 (プレート境界多摩地震)
震源	東京都多摩地域
規模	M7.3
震源の深さ	約30～50km
風速	6m
日時	午後6時(冬)

市の被害想定

項目	被害想定結果
建物全壊棟数(件)	661
出火件数(件)	14
死者数(人)	15
負傷者数(人) (うち重傷者数)	1,006 (99)
避難者(人)(1日後)	14,036
帰宅困難者(人)	12,743

	寄せられた意見	市の検討結果
1	全般的に表記方法が改善されたことは理解できるが、災害時の対応方法について、より具体的に記載していただきたい。(8件)	対応する部署、連携する各防災関係機関などについて、できるだけ明確に表記するよう修正しました。
2	災害時要援護者対策について、当事者の実態把握も含め、より具体的な対策を検討していただきたい。(5件)	本計画策定後、市民の皆さんの意見などを参考にして、「災害時要援護者避難支援プラン」の検討に着手します。
3	避難所、救護、広報などについて、災害時の混乱等を想定し、対応基準等を数値により明確にしていきたい。(15件)	「減災目標」に係る目標数値などを明確化し、修正しました。なお、本計画策定後、各災害対応についてはマニュアル整備により、具体的に整理していきます。
4	今後、本計画に基づき、市民および防災関係機関などとの連携、訓練の実施などについて、実施目標を決め実行していただきたい。(14件)	施策によっては、時間を要するものもありますが、計画的に実行していくための環境整備を進めます。
5	市の体制を明確にし、組織の強化をしていただきたい。(12件)	体制の明確化を図り、横断的な庁内対応ができるよう、担当部署の再検討および修正をしました。

「西東京市環境基本計画見直し」中間報告

環境保全課 (保(番438 - 4042))

検討結果公表日 5月15日(木)

意見募集期間 3月1日(土)～31日(月)

意見件数 8件(3人)

項目	寄せられた意見	市の検討結果
1	広報の仕方が不親切。広く意見を集められるよう、市報の募集記事、見直し案本文中の表やグラフ、構成の工夫、聞きなれない用語の説明が必要。(2件)	より多くのご意見を集めるため、今後改善を行います。また西東京市環境基本計画改訂版では、ご意見を参考にした構成にします。なお、環境年次報告書(環境白書)巻末に、おもな環境用語の説明を記載してありますのでご利用ください。田無・保谷両庁舎情報公開コーナー、図書館、市HPでご覧になれます。
2	市民アンケートについて、対象者・抽出方法などの情報は載せないのか。(1件)	市民アンケートの詳細については、田無・保谷両庁舎情報公開コーナー、図書館、市HPでご覧になれますので、ご利用ください。
3	緑被率、みどり率、最終処分場搬入量目標値等、あいまいな指標や目標値を明確にする必要があるのではないか。(1件)	一部の指標・目標値はすでに策定済みの計画に準じているものがあり、また、その他については、今後ほかの計画との整合性を図りながら設定します。
4	自然エネルギー・雨水等の活用について、真剣に取り組むべき。(2件)	6月にオープンするエコプラザ西東京は、家庭・事業所での環境保全活動の参考となるよう、省エネ設計、自然エネルギー利用など環境に配慮した設備を多数採用しています。ここを市の環境情報拠点として、市全体に自然エネルギー活用が普及する取り組みを行います。また、今後策定する地球温暖化対策地域推進計画で、自然エネルギーの活用を取り入れたいと考えています。
5	基本方針1(1)環境汚染の防止、(2)道路環境・交通マネジメントを中心とした施策によって地球温暖化対策に取り組んでいくべきではないか。(1件)	環境汚染の防止、道路環境・交通マネジメントは広域的な環境問題のため、国の方針や都の計画とあわせて進めていきます。また、地球温暖化対策地域推進計画の中で、環境先進自治体の成功事例を積極的に取り入れ、今後5年間の西東京市環境基本計画における地球温暖化対策を強化していきます。
6	どのような施策が行われ、どのようなことがわかったのか、具体的な方法や数値でわかるようにしてほしい。(1件)	市の環境施策内容とその取組状況については、毎年環境年次報告書(環境白書)を発行し、公表しています。田無・保谷両庁舎情報公開コーナー、市・図書館HPでご覧になれます。